

編集後記

新型コロナウイルス感染症もようやく収束のめどが立ち、3月に行われたWBCでは、日本が3大会ぶり3度目の世界一に輝くという明るい話題が続いています。この流れで、ロシアのウクライナ軍事侵攻の終結も願わざにはいられません。

誌上ギャラリーは、尊田和徳先生から、京都の「本法寺の桜」を頂きました。満開の桜と舞妓さんの構図は、まさに日本の春を感じさせます。

論説と話題は、日本医師会医療情報システム協議会の報告です。現在、国は医療 DX (Digital Transformation)を急速に進めつつあります。「医療 DXの対する日本医師会の考え方」「国が目指す医療 DX」「医療情報の標準化がめざす未来」「地域医療情報連携ネットワーク」「サイバーセキュリティ」の5部門について2日間に渡り講演が行われました。医療 DXに関する最新の話題、情報が満載です。専門的な話もあり、なかなか理解しづらい面もありますが、全国での医療 DXの現状や、今後日本医師会や国の目指す方向性を理解するためにもぜひご一読をお願いします。

医療トピックスは、医師会病院薬剤部中島誠先生より、GLP-1受容体作動薬について解説して頂きました。

学術は、今村総合病院皮膚科武田浩一郎先生から「造影剤の血管外漏出による皮膚潰瘍の1例」をご報告頂きました。貴重なご報告ありがとうございました。

医師会病院だけはペインクリニック内科の紹介です。一般的な疾患の痛みの治療から、高齢者における痛みの治療の重要性などについてご紹介頂きました。会員の先生方には、引き続き患者さんのご紹介をよろしくお願ひ致します。

随筆・その他は4題です。古庄弘典先生から、切手が語る医学「ボスニア・ヘルツェゴビナの切手」を寄稿して頂きました。栗博志先生からは、「歌と写真で綴る薩摩の脇道—歌三昧の史跡巡礼、その6-3-」を、濱田博文先生からは、『「記・紀」により、封印された邪馬台国と葬られた出雲の国が、今蘇る』(全④-3)をご寄稿頂きましたが、いずれ

も史実の緻密な検証に驚かされます。リレー随筆は、鹿児島大学病院初期研修医の植之原里香先生からご寄稿頂きました。「かっこいい女」をユーモアたっぷりに書かれ、国語が苦手だったとはとても思えない文章になっています。今度は、バイクにまたがった「かっこいい女」として写真で登場してもらいたいものです。

各種部会だよりは、鹿児島市内科医会1月例会で、順天堂大学合田朋仁准教授に「腎症を合併した2型糖尿病の新しい治療戦略」という演題でご講演頂きました。鹿児島市医師会女性医師部会総会・研修会では、鹿児島市立病院産婦人科医員松宮克樹先生に「ヒラ男性勤務医の育休～理想と現実と課題」という演題で、また南九州病院小児科馬場悠生先生に「私の育休体験とその後の生活」という演題でご講演頂きました。これからは男性医師の育休も当たり前のようにしていくのでしょうか。鹿児島市医師会学校医会総会・講演会では、福元クリニック理事長福元和彦先生に「変わりつつある性教育～性を表通りに!」という演題でご講演頂きました。「LGBT法案」が議論される今、まさにタイムリーな講演です。

各種報告は、理事会の概要、臨床検査センター協力運営委員会、医報編集委員会を事務局より、日本医師会女性医師支援・ドクターバンク連携九州ブロック会議の報告を中山弘子先生より頂きました。

附属施設だよりは、鹿児島市医師会病院や検査センター収支実績、検査実績の報告です。今後とも、皆様のさらなるご紹介・ご利用をお願い申し上げます。

鹿市医郷壇の題吟は「欠伸(あくつ)」です。ご寄稿いただいた先生方、ありがとうございました。初めての先生方もどうぞ奮ってご寄稿下さい。

3月21日、岸田首相は戦火のウクライナを電撃訪問しました。国会でも賛否両論ありましたが、5月日本で開催されるG7首脳会議(広島サミット)の議長国として、強力な指導力を発揮してもらいたいものです。

(副編集委員長 佐藤 大輔)